

第58回 カトリック召命チーム会合議事録

日時：2017年1月14日（土）16:00-18:00

場所：岐部ホール **307号室**

出席：井手口満師、松室康彦氏、大木聡氏、孫聖和（ソンスンホア）氏、大山悟（書記）

Sr.松宮るみ子、久慈澄江氏、鈴木崇代氏、氏家ゆり子、片岡秀美、

特別ゲスト参加：Sr.パウラと松島はるか

欠席：藤倉彰三氏、佐々木多嘉男氏、笠井三笠氏、Sr.小田切智恵子、Sr.荒川佳世子、

I. 報告・確認事項

A. HPみ言葉コーナーの記事・・以下の方々宜しくお願いします・・以下の担当者を確認しました。
2017年1月大木 2月松室 3月孫 4月小田切 5月大山

B. その他：三つのグループの青年たちを迎えて

*自己紹介・・ひとりずつ簡単に自己紹介しました。

*グループ紹介：Wakage と ネットワークミーティングから Sr.パウラと松島はるかさんが参加

・Wakage とは真生会館に集まっている学生と青年たち。カトリック的集まりであるが、未洗礼者も参加OKとなっている。月曜日～金曜日まで19:00～21:00ごろまで集まりを行っている。月曜日は哲学・神学の研究会、火曜日は料理、水曜日は映画鑑賞、木曜日「祈り」の集い、金曜日は種々様々なテーマでの分かちあい。

・ネットワークミーティングとは全国青年交流のネットワークで、年に2度全国の集まりを行っている。早16年、今まで32回の全国青年の集まりを行った。目的は「親睦と《信仰の分かちあい》」。次回の集まりは東京が担当。さいたま、横浜と共同開催。

II. 召命チームについて説明

カトリック召命チームは、日本に於ける司祭、修道者、信徒のさまざまな召命活動の活性化、連帯化を目指す司祭、修道者、信徒からなるチームで、2009年12月に発足しました。

このチームの主な目的は

- ①日本カトリック教会における司祭、修道者(女)、信徒の召命促進
- ②教会が直面している召命にまつわる種々の問題をも明確にし、その解決の糸口を探る
そのために《シンポジウム》(講演・公開討論)や《召命担当者の集い》などを企画、開催する
- ③日本カトリック教会全体で「召命促進」を考えるための情報ネットワークを構築する
そのためにホームページを立ち上げ、情報を交換する
カトリック召命チームホームページ <http://c-v-team.com>
- ④召命黙想会や養成に関する研修会、勉強会などの企画、開催、支援などを行う

これまでの活動として

奇数年には《シンポジウム》を行い、参加者と共に考えています。(対象：カトリック信者)

- ・2013年10月には『信仰と召命』について、
- ・2015年4月には『キリスト者の奉獻と召命』について、
- ・2017年5月6日には『若者と教会』について

また偶数年には全国の教区、修道会の召命担当者を対象に《召命担当者の集い》を企画しています。召命担当者以外の方で関心のある方も参加しています。

- ・2012年10月には『召命の促進を目指して』(一直面する問題とその解決案一)について、
- ・2014年4月には『召命の土壌作り』について、

- ・2016年4月29日～30日には第三回『年齢枠を越えた人の召命』（識別と召命）
- ・2018年には『教会における若者の召命』（仮題）の予定

今後の活動の展開

全国にこのようなチームが結成され、それらのチームと連携できればと思います。

このチームの維持・運営

シンポジウムや召命担当者の集いへの参加費用、そしてカトリック者の有志の皆さんの祈りと奉仕、献金によって維持・運営されています。

Ⅲ 2017年度のカトリック召命チームによる企画について

*2018年のシノドスのテーマ：Young people, the faith and discernment of vocation

*召命チームとしては2018年に『教会における若者の召命』（仮題）をテーマに召命担当者の集いを予定している。

*それにさきだち、2017年5月6日に『若者と教会』をテーマにシンポジウムを開催し、カトリック信者の若者たちが「教会について」「召命について」「司祭・修道者について」どう考えているか、その考えを分かち合っていたら考えている。

*この3つのテーマのうちの一つを、三つのグループ《ワカゲ》《ネットワークミーティング》《麴町教会2016年WYD参加者》がそれぞれ担当し発表していただけたらと考えている。

・方法

- ①今日、担当するテーマを選ぶ。
- ②自分のグループでこの三つのテーマを話合う
- ③特に発表を担当するテーマを重点的に話し合う。
- ④一つのグループあたり、約20分の発表になるので、発表の内容を文書化する。
- ⑤発表後にその発表文章をチームのメンバー（大木に提出）

*発表にプロジェクターやポインターなどが必要なら召命チームの方で準備する。教えて下さい。

Ⅳ. スケジュールの確認

1. 開催日程・場所

開催日：5月6日（土）

場 所：カトリック麴町聖イグナチオ教会 ヨセフホール

時 間：13時から18時まで

13:00 受付

13:20 開始・祈り、挨拶、オリエンテーション

13:30 シンポジウム開始(60分)・三人が発表：一人20分

14:30 質疑応答(20分)

14:50 休憩(10分)

15:00 グループ別分かち合い(60分)

16:00 休憩(10分)

16:10 全体会・発表・まとめ

16:50 挨拶と終わりの祈り

17:00 《召命祈願特別ミサ》・パナマでのWYDの準備のため

祈願文、叙唱、共同祈願：前文・後文・井手口準備

18:00 終了

2. 参加費用（1000円）

*参加費用：《Wakage》《ネットワークミーティング》《麴町教会2016年WYD参加者》に関連す

る若者の（また神学生・志願者・修練者を含む）参加費用を無料とする・今回の会議で承諾、可決されました。

*参加費用は上を除く、司祭、修道者、カトリック信者たちから頂く。

3. 係・担当者

- ・ 広告、チラシ、看板…………井手口師、藤倉氏、笠井氏
- ・ 会場設営、マイク、プロジェクター
ポインター、ノートパソコン…………松室氏、井手口師
- ・ 受付：Sr.小田切、Sr.荒川、久慈氏、鈴木氏、氏家氏、片岡氏、深堀氏
参加者チェック…………受付
会計（参加費、寄付受付）…………受付
資料等配布…………受付
- ・ 名札準備…………井手口師
- ・ 会場案内、誘導…………全員
- ・ ホームページ用記録…………松室氏、井手口師
- ・ 総合司会・タイムキーパー…………藤倉氏
- ・ 総務監督…………佐々木氏
- ・ 開始の祈り…………Sr.松宮
- ・ 開会の挨拶…………佐々木氏
- ・ パネルディスカッション・司会…………大木氏
- ・ 記録・写真…………松室氏
- ・ グループ別話し合い…………井手口師
- ・ まとめと最後の挨拶…………大山
- ・ ミサ・準備・聖歌、朗読…………Sr.小田切、Sr.荒川
ミサ司式…………諏訪司教？
共同司式…………
- ・ パネラー・ミサ共同司式者案内…………Sr.荒川
- ・ アンケート係…………大山
- ・ 質問用紙作成…………大山

* 5月6日(土)・スタッフは12:00に、一階、ヨセフホール前に集合。

V. その他・分かちあい・テーマ《キリスト教の考え方、信仰は今の時代の人々に売れるか》

*教会の存在、考え方、教え、信仰は有益である。

- ・ 教会の教え、考えは困苦欠乏、悲嘆、孤独、辛いときに大いに助けになる・そのような人々に祈り場を提供し、相談にのり、助けている。苦しみの意味、死の意味を教えてくれる。
- ・ 教会には悩み相談が寄せられる。その時に相談料は取らない・無料。しかし同じことを専門者に相談するなら有料。従って、教会の存在は、人の悩み等を聴くことにおいて、十分に売れている。
- ・ 教会の教えは社会福祉の実践のために有益・ホームレス支援、社会教説の教えと実践はとても有益。
- ・ 教会は《つながり》を持てる場である。特に若い時代に築いた《つながり》を年齢と共に増していく。親密になる。教会には多種多様な人がいて、いろんな出会いができる場である。関わりの味わいを持てる場である。自分の関わりを見直すこと。「ありがとう」といえる関わりができること。一つにつながり、共に祈り合い、支え合うそのような深い関わりを持たせるのが教会である。
- ・ 《沈黙》がブレイクしている。今の社会の中で、教会は苦しみ、沈黙に直面している人たちに、助けとなる力あるのではないか。ヨガでは心、体、感情が一つにならなければ《いやし》は得られないという。そのヨガに多くの人たちが参加し癒しを求めている。教会には心と身体と感情を一つにしいやしの力を引き出し強める力がある。霊的同伴などを通して、神が全て

の人に働いていること、神の働きで人々が力を回復していくことを体験する。教会は話を聞き、悩みを話す人に気づかせていく力がある。私たち一人一人が「地の塩」「世の光」である。私たちの神体験が人を生かす。ここに教会の有益さがある。

- ・教会の教えは日常を生きる力を与える。自己肯定感、他者肯定を与え、愛し赦す力を育む。問題解決の視点や能力を与える。未来を展望し、いかに生きるかのヒントを教会は与え得る。世のあり方を示し、世のリーダーがいかにあるべきかを教会は教え示す。
 - ・教会は今を生きる力を与える視点で、世にアピールする方がよい。
 - ・教会は今とこれからの政治、経済、医療などの分野でリーダーを養成する力をもっている、それをもっとアピールするべき。
- ・これからの世界を有り様を描き、それに対応できるような力を発揮するべき。
- ・これからの社会は「情報化社会のさらなる展開」「人口頭脳が発達し応用される」「生命科学の発達」「宇宙科学のさらなる発達」があり、教会のあり方とぶつかるように感じるだろうが、教会の教えがなくなるなら、人間の物化がすすみ、人間種が消えること有り得る。人間の未来を維持し、繁栄させるためにキリスト教の存在は重要であろう。

*教会は生き方、あり方、考え、信仰が売れるためには

- ・祈りが欠如、不足している。・教会の売りは祈り（神との語らいから力を得ること）であるはず。
- ・教会では霊的なものより、チャリティバザーなどの活動が盛んに行われている・
- ・祈りに人を招くと人は来る・日曜日の「晩の祈り」に若者たちも参加する。
- ・職場で祈りの雰囲気をつくれたらよいが・
- ・社会が忙しくて、教会に来ない若者たちが多い・親は子供たちを土曜日、日曜日に塾やスポーツクラブ通わせる・親たちは子供の学歴向上を願い、また将来、社会での高い身分、地位の獲得できるように、教会より社会的考えを優先させている。
 - このような傾向は現代における自由への束縛であり、宗教的には迫害の一種。
 - このような傾向に抗わず、上手く利用することが大切・
- ・40歳より若い年代の人たちを魅了する教会であるべきである・若者のニーズは何かを知る。
- ・若い人たちが教会に来れるような雰囲気を作ることが大切。
- ・教会に来る若者に仕事を押しつけると、重くなり、教会に行かなくなる。
- ・教会は一般社会と同じ価値観にある・欲と所有と競争の共同体となっている・
- ・教会人にとって大切なのは《信仰に基づく》生き方ではないか。信仰が日常生活に、有益で、重要不可欠であることを、紐どいて欲しい。信仰と愛の実践のつながりについて知りたい。
- ・人は日常から離れて美術鑑賞を行い、時間を潰し、金をかける。教会には人を引きつける力がなぜないのか？
- ・教会は《神とその働き》を説明するが、それは《信仰によって分かる》というが、一般の信者には分からない。そのことを教会の司祭たちは分かるべき。
- ・教会は単に《裁き》《清め》の共同体なのか。生きる力を増すような共同体であってほしい。
- ・社会で神について考えることはない。神について教え、感じ取らせる教会であったほしい。そうしないと人々は魂の安らぎを求めて、芸術鑑賞などなど、感覚的享楽に向かうからである。
- ・「教会には若者たちが「また来たい」と思わせる魅力が不足している。若者たちは「深い真のかかわり」「誠実」「真理」を素直な心で求めている。多くの経験を持つ人たちの集まりである教会共同体は、その若者たちのニーズに応え得るはず。もっと柔軟性をもって若者を受け入れていくことが必要
- ・洗礼をうけて来なくなる人がいる・教会のあり方に問題があるからだろう。

結び：

- ・「教会の教え（信仰的生き方）の価値を下げ、妨げている要因は何か」については話し合えなかった。
- ・教会に於ける召命の活性化のためには、「自分たちの信仰」がほんとうに「役立つのか」「意味があるのか」をいつも自問する必要があるだろう。人々がキリスト教の信仰的あり方に魅力、意味を見いだせないなら、教会は必然的に衰退するだけである。
- ・教会の信仰的生き方を提示出来るかどうかは、キリスト者がキリスト教信仰から日々の生活の中で「生きる力を得ているかどうか」にかかっている。結局、信仰生活の充足が召命

の如何の鍵である。

次回会合：3月4日 16:00-21:00

真生会館

次回の内容：青年たちの会合に参加、ミサ（祭服持参）、ピザ

ワカゲの皆様と同伴司祭の皆様
ネットワークミーティングの皆様と担当司祭の皆様
麴町教会 2016 年 WYD 参加者の皆様

お願い

+ 主の平安

皆様におかれましては、主のご誕生を喜びの内に迎えるために勤しんでおられることと存じます。
私たちカトリック召命チームは、2009 年より日本におけるカトリック者(信徒、修道者、司祭たち)の召命の促進のために活動している会です。これまで召命に関するシンポジウムや召命担当者の集いを開催し、日本の召命問題を考えてきました。

ところで、日本カトリック召命チームは 2017 年 5 月 6 日(土曜日)に、《若者と教会》というテーマで、シンポジウムを開催し、《教会について》《召命について》《司祭・修道者について》カトリック青年の皆様の考えを拝聴し、分かち合えたらと考えています。開催場所と日程は次の通りです。

開催日： 5 月 6 日(土)

場 所：カトリック麴町生イグナチオ教会 ヨセフホール

時 間：13 時から 18 時まで

13:00 受付

13:20 開始・祈り、挨拶、オリエンテーション

13:30 シンポジウム開始(60 分)・三人が発表：一人 20 分

14:30 質疑応答(20 分)

14:50 休憩(10 分)

15:00 グループ別分かち合い(60 分)

16:00 休憩(10 分)

16:10 全体会・発表・まとめ

16:50 挨拶と終わりの祈り

17:00 《召命祈願特別ミサ》

18:00 終了

つきましては 13:30 分から始まるシンポジウムで、三つのグループ《ワカゲ》《ネットワークミーティング》《麴町教会 2016 年 WYD 参加者》から、それぞれ 20 分程の発表をお願い出来ないでしょうか。

発表内容は以下の三点です。

それぞれのグループで前もって上の三つのテーマについて話し合ってもらい、そのうちの一つについて 20 分程度で発表していただけたらと思います。そしてその話を受けて、その後、参加者全員で、グループに分かれ、分かち合えたらと考えています。何卒よろしく願いいたします。

①あなた(若者)たちにとってカトリック教会とは何。

・あなた(若者)たちが教会に対して持つ素朴な疑問は何か

・あなた(若者)たちは、教会に何を期待するか・求めるか

②あなた(若者)たちが《召命》という言葉を書くときに感じる思い(反応は…)

③あなた(若者)たちにとって司祭・修道者とはどんな存在なのか

つきましては 1 月 14 日(土曜日)午後四時から六時まで行われます「召命チーム」の定例会に、代表者が 1~2 名、御参加お願いできないでしょうか。その会合で、どのグループが、どのテーマを発表するのかなどについて意見調整したいと考えています。またその際、それぞれのグループの紹介文などを持参していただけますなら幸いです。

末尾になりましたが青年司牧・宣教活動に従事し、青年たちに同伴、指導されている神父様方またシスター方、何卒、私どもカトリック召命チームの活動と意向を御理解いただき、御協力いただけますように切にお願い申し上げます。

皆様方の活動が今後とも神の御助けと祝福のもとに盛会でありますように祈っています。

2016 年 12 月 12 日

カトリック召命チーム
代表 大山 悟 PSS

2017年度 岐部ホール 使用願い

イエズス会 日本管区会計様

申込日：2016年12月20日

使用者：カトリック召命チーム 代表：大山悟PSS（日本カトリック神学院東京キャンパス）

連絡先 177-0052 東京都練馬区関町東2-7-10
日本カトリック神学院 東京キャンパス
電話：03-39202121
大山携帯 090-5937-0301

使用目的：日本における召命の促進のための活動・・・会議

使用者数：20人前後

使用部屋：2017年 307と306号室

使用時間：16:00～18:00

使用時間：16:00-18:00

使用日程：毎月第二土曜日・・・4月、6月、7月、10月、11月、12月、1月・・・合計7回

4月8日、6月10日、7月8日、 8月休会、9月休会、
10月14日、11月11日、**12月9日(この日のみ306号室)**
1月13日、 2月休会、3月休会

カトリック召命チーム
代表

受付番号 253
2016年12月20日
管区会計室 赤松